



株式会社

エービーエム

2018年度

# 環境経営レポート

(南陽市勤労者総合福祉センター)

2018年4月～2019年3月

発行日：2019年7月1日

豊かに快適な環境を求めて…



爽やかな笑顔、  
真心のサービス



環境経営レポート部門



®環境省  
エコアクション21  
認証番号0011545



## 社 是

私達は、技術・知識の向上に努め  
安全・安心・清潔のサービスをモットーに  
快適な環境を社会へ提供します。

## 経 営 方 針

私達は お客様感動を達成します。  
私達は 事故ゼロを継続します。  
私達は 不祥事案を撲滅します。  
私達は 環境方針を推進します。

## 環 境 経 営 方 針

### 環境理念

私たちは、ふるさとの豊かな環境を守り、持続可能な社会の実現を目指すため、環境マネジメントシステムの継続的な運用改善を図り、自らの環境負荷を可能な限り削減していくとともに、総合ビル管理、警備、指定管理等の業務を通じて、「安全・安心・清潔」に関する技術と真心サービスを提供しつつ、お客様の環境負荷の削減にも寄与してまいります。

### 環境行動指針

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 電力使用、化石燃料の消費に伴い発生する二酸化炭素を計画的に削減していきます。
3. 廃棄物を可能な限り削減するとともに分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めます。
4. 節水に努め、水資源を大切にします。
5. 化学物質の使用量を削減していきます。
6. 社員のスキル向上により、業務の効率化を図り、他社との差別化を図ります。
7. お客様の環境負荷削減につながる提案を積極的に行い、可能な範囲で実践します。
8. 地域の環境保全活動に貢献します。

制定日：平成28年6月1日

最終改定日：令和元年5月1日

代表取締役社長 赤間俊明

## 2. 組織の概要



### 2-1. 事業者名及び代表者氏名

- 株式会社エービーエム
- 代表取締役社長 赤間俊明

### 2-2. 所在地

- 本社：〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田 584-2
- 指定管理施設「南陽市勤労者総合福祉センター」  
〒992-0472 山形県南陽市宮内4526-1

### 2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者：企画・人事部部長 田口浩之
- 施設環境管理責任者：五十嵐久人
- 連絡先：TEL. 0238-47-6445

### 2-4. 施設概要

ワトワセンター南陽(南陽市勤労者総合福祉センター)は、中小企業に働く皆様の福祉の充実と勤労意欲の向上などを目的に、職業の情報提供を行うほか、文化・教養・研修活動を通じ、雇用の促進と職業の安定とを実現するための施設です。

- 平成5年12月1日 雇用促進事業団委託施設として供用開始  
その後平成16年4月 建物売買契約後、市有財産として運営開始
- 構造：鉄骨コンクリート造屋根平屋建
- 施設内容：多目的ホール、会議室、研修室、音楽室、  
教養文化室、事務室、屋外テニスコート
- 敷地面積 3582.23㎡ 建築面積 977.28㎡ 延べ面積977.28㎡  
全天候型砂入人工芝テニスコート 面積1383.0㎡
- 常勤社員：6名（正社員1名、パート社員5名）



### 2-5. 施設利用状況

事業年度	平成27年度 (H27.4~H28.3)	平成28年度 (H28.4~H29.3)	平成29年度 (H29.4~H30.3)	平成30年度 (H30.4~H31.3)
事業規模				
利用料金収入額(円)	4,434,845	4,434,905	4,262,540	4,360,635
施設利用人数(人)	27,558	27,361	22,718	22,297



### 3. 環境目標とその実績



#### 3-1. 環境負荷の現状(平成30年度環境負荷自己チェック結果より)

##### ■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、H28年度東北電力(調整後:0.548)を用いています。

1) 当施設における平成30年度のCO<sub>2</sub>排出量は合計57,487kg-CO<sub>2</sub>となっており、前年度比3.8%増加しました。これは平均的な一般家庭12軒分の排出量に相当します。(平成29年度1世帯あたりの平均年間排出量は4,480kg-CO<sub>2</sub>: 出典: 温室効果ガスインベントリオフィス)

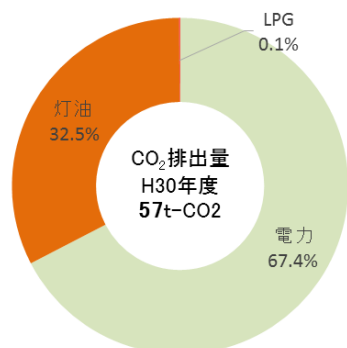
2) 当施設から排出されるCO<sub>2</sub>の67.4%は電力の使用に伴うもので38,741kg-CO<sub>2</sub>(前年比3%増)、次いで灯油の消費に伴うものが32.5%、18,689kg-CO<sub>2</sub>(前年比5.6%増)、LPGが56kg-CO<sub>2</sub>(前年比9.6%減)となっています。

3) 電力は施設の照明、テニスコートの夜間照明、冷暖房の稼働で使用しています。また、灯油は冷暖房ボイラー運転用、LPGは給湯、利用者のシャワー用となっています。

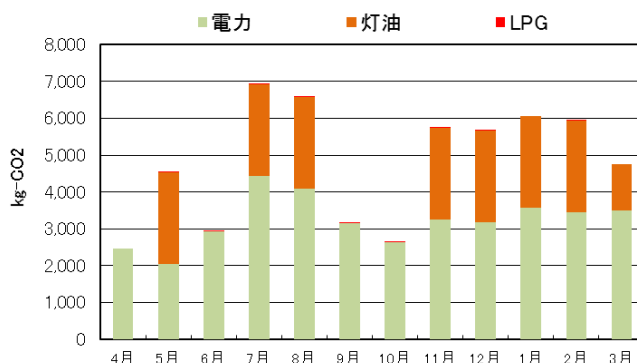
4) 月別のCO<sub>2</sub>発生量は夏期の7月、8月と冬期間11月~3月に多くなっています。これは、当館の空調機は吸収冷温水機を使用しているため、冷房時、暖房時ともに灯油を使用するため、同時に電気を使用するため、増加するためです。

5) 以上のことから、灯油使用量の削減と電力使用量の削減が重点課題であるとなりますが、特に空調機は相当の年数が経っており、空調機の切替時には、省エネ機器への交換や、館内のLED化を行政に提案し、実施していくことが必要であると思います。

<二酸化炭素の排出源(H30年度)>



<月別二酸化炭素排出量(H30年度)>



##### ■ 廃棄物排出量

■一般廃棄物: 可燃ごみ、紙類(資源回収対象)などは、行政の分別ルールに従い、それぞれ、量を把握した上で排出しています。可燃ゴミが最も多く42kg、次いで古紙・コピー紙が37kg、廃プラが4.8kgでした。リサイクル率は46.2%となっていました。

可燃ごみは利用者の持ち込みゴミとシュレッダーゴミで、個人情報の入った書類はシュレッダーをかけているためです。館内にはゴミ箱は無いが、給湯室の茶殻や残渣、トイレのゴミなどである。

■産業廃棄物: 排出されたのは廃蛍光灯で8kgでした。照明器具の経年劣化により、通常よりも蛍光灯の寿命も短くなっていると思います。乾電池は全て充電式のものに切り替えています。

##### ■ 総排水量(水使用量)

上水のみ使用しており、年間540m<sup>3</sup>(前年度466m<sup>3</sup>)使用し、下水道に排出しております。昨年度より15%増加しました。用途は生活排水(トイレ、手洗い、シャワー)のほか、花の水遣りです。

##### ■ 化学物質使用量(購入量)

該当する物質について、本社・南陽営業所データに含まれています。

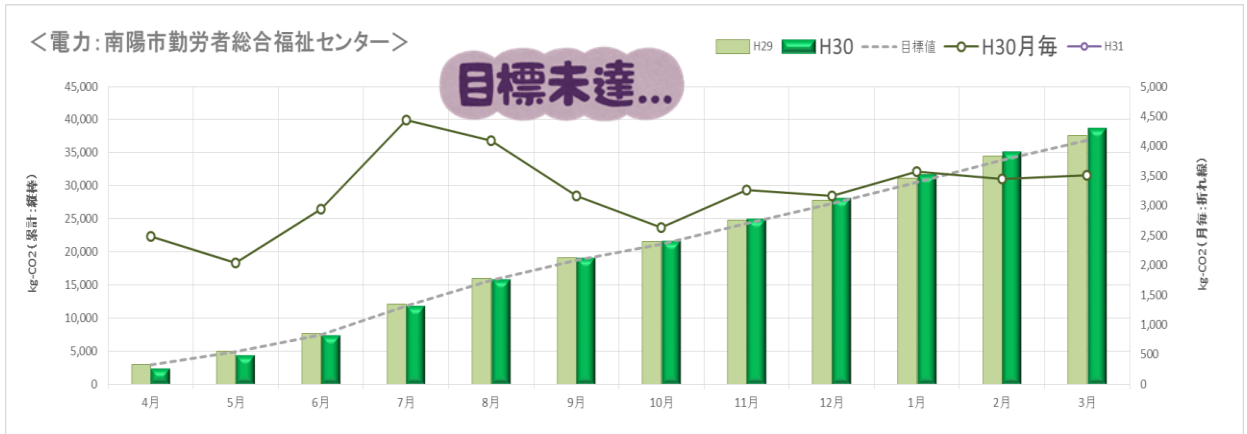


### 3-2. 環境目標（単年度・中期）と達成状況

環境経営方針との整合性を図りながら、環境負荷の自己チェックの結果を踏まえ、二酸化炭素、廃棄物、水、グリーン購入について、環境目標（単年度目標&5年間の中期目標）とその達成に向けた活動計画を策定し、取組を行いました。達成状況は下記のとおりです。

#### ■ 二酸化炭素排出量（電 力）

【H30年度目標】 H29年度比2%削減  
 【中期目標（H30~R4）】 H29年度比10%削減



#### 【取組結果】（取組期間：H30.4~H31.3）

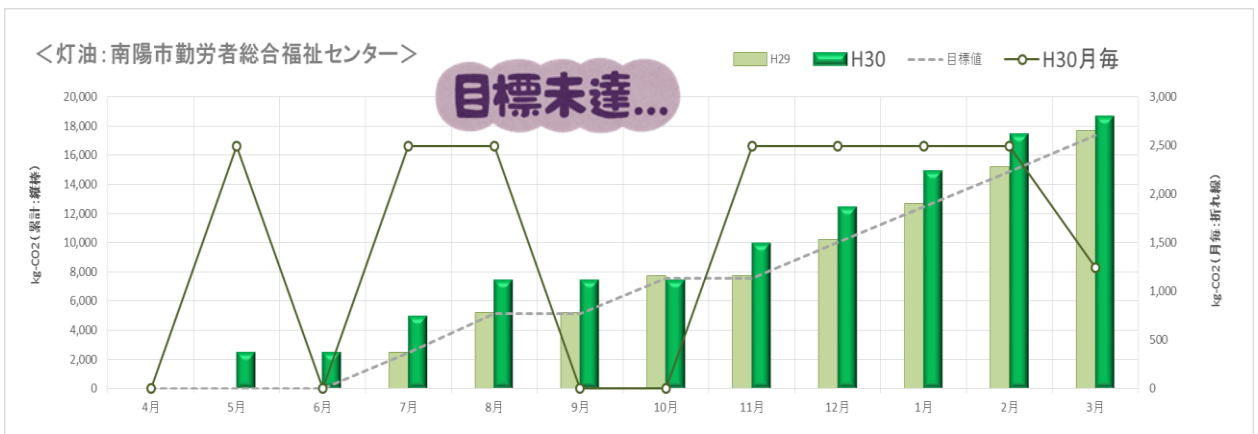
- 基準年度実績：37,609kg-CO<sub>2</sub>
- 取組期間目標：36,857kg-CO<sub>2</sub>
- 取組期間実績：38,741kg-CO<sub>2</sub>
- 増減量：+1,133 kg-CO<sub>2</sub>
- 増減率：+3.0%

#### 【評価コメント】

利用前に予め部屋の換気をすることで、空調の効率化をはかってみましたが、夏場の酷暑と、利用が昨年度よりも増加したため、それに伴い電力使用が増え、結果目標を達成することができませんでした。

#### ■ 二酸化炭素排出量（灯 油）

【H30年度目標】 H29年度比2%削減  
 【中期目標（H30~R4）】 H29年度比10%削減



#### 【取組結果】（取組期間：H30.4~H31.3）

- 基準年度実績：17,693kg-CO<sub>2</sub>
- 取組期間目標：17,339kg-CO<sub>2</sub>
- 取組期間実績：18,689kg-CO<sub>2</sub>
- 増減量：+997kg-CO<sub>2</sub>
- 増減率：+5.6%

#### 【評価コメント】

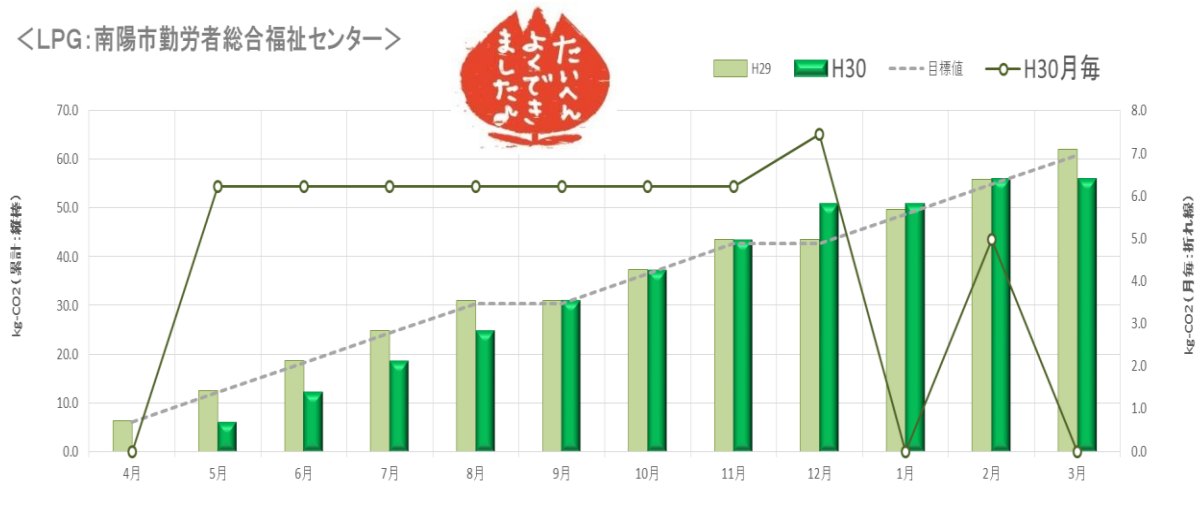
昨年度と比較して、暖冬だったため暖房稼働時間が大幅減少し、ましたが、夏場の使用量増の影響もあり、目標を達成できませんでした。



## ■ 二酸化炭素排出量 (LPG)

【H30年度目標】 H29年度比2%削減  
 【中期目標 (H30~R4)】 H29年度比10%削減

<LPG:南陽市勤労者総合福祉センター>



### 【取組結果】 (取組期間: H30.4~H31.3)

- 基準年度実績: 62.1kg-CO<sub>2</sub>
- 取組期間目標: 60.9kg-CO<sub>2</sub>
- 取組期間実績: 55.9kg-CO<sub>2</sub>
- 増減量: -6.2kg-CO<sub>2</sub>
- 増減率: -10%

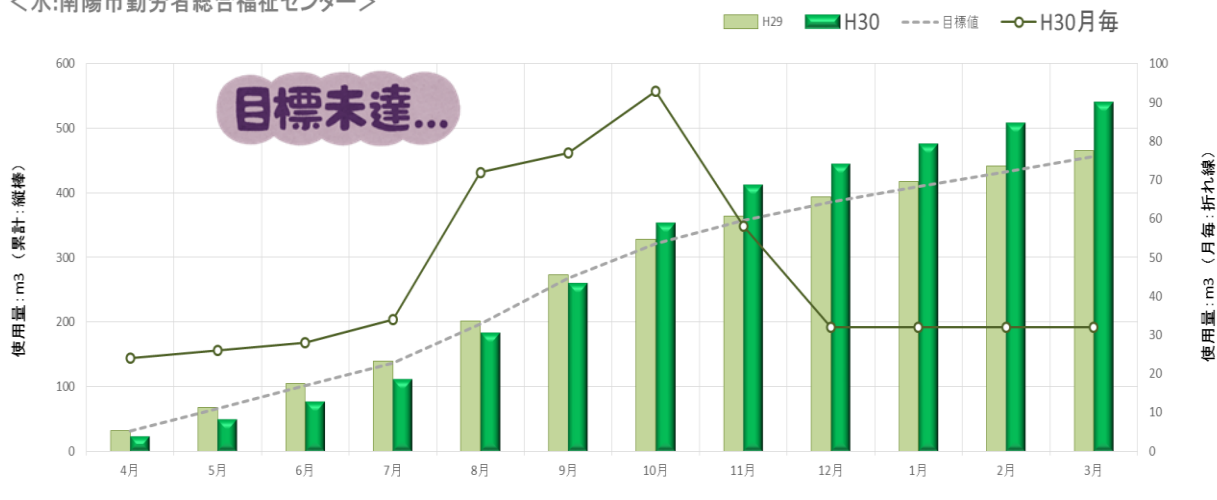
### 【評価コメント】

もともとガスの使用量は少ないが、給湯室などにポップを掲示、また暖冬だったこともあり、給湯温度も比較的抑えることができた結果、目標を達成することができました。

## ■ 水使用量

【H30年度目標】 H29年度比2%削減  
 【中期目標 (H30~R4)】 H29年度比10%削減

<水:南陽市勤労者総合福祉センター>



### 【取組結果】 (取組期間: H30.4~H31.3)

- 基準年度実績: 466 m<sup>3</sup>
- 取組期間目標: 457m<sup>3</sup>
- 取組期間実績: 540m<sup>3</sup>
- 増減量: +74 m<sup>3</sup>
- 増減率: +15.9%

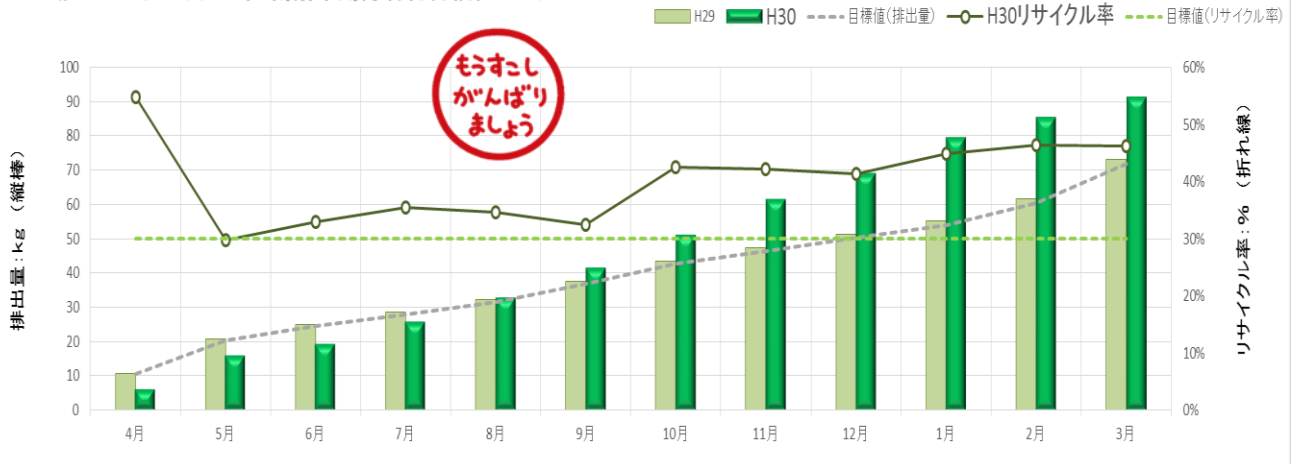
### 【評価コメント】

スタッフの節水意識や館内の掲示などで、節水を周知したこと、もあり、当初は昨年度より使用量は少なかったのですが、猛暑の影響で使用量が大幅に増加し、また、10月は自主事業「和と輪まつり」を開催し、例年よりも来館者が増加したこともあり、結果、目標に届かなかった(なお、冬期間は推定推量です)

## ■ 一般廃棄物排出量

【H30年度目標】 H29年度比で排出量2%削減／リサイクル率2%向上  
 【中期目標 (H30~R4)】 H29年度比で排出量10%削減 リサイクル率10%向上

＜一般ゴミ/リサイクル率:南陽市勤労者総合福祉センター＞



### 【取組結果】 (取組期間: H30.4~H31.3)

- 基準年度実績: 排出量 73kg リサイクル率 28%
- 取組期間目標: 排出量 72kg リサイクル率 30%
- 取組期間実績: 排出量 91kg リサイクル率 46%
- 増減量: 排出量 +18kg リサイクル率 +18%
- 増減率: 排出量 +24%

### 【評価コメント】

来館者へのゴミの持ち帰りを協力いただくポップの作成や、さらにゴミの分別を強化し、リサイクル率を上げる努力をしたことで、リサイクル率は目標を達成できました。一方、利用者が増加したことにより、ゴミの排出量は増加してしまい、目標を達成できませんでした。

## ■ 産業廃棄物排出量

【H30年度目標】 H29年度比2%削減  
 【中期目標 (H30~R4)】 H29年度比10%削減を維持



＜産業廃棄物:南陽市勤労者総合福祉センター＞



### 【取組結果】 (取組期間: H30.4~H31.3)

- 基準年度実績: 11.1kg
- 取組期間目標: 10.8g
- 取組期間実績: 7.6kg
- 増減量: -3.5kg
- 増減率: -31.2%

### 【評価コメント】

乾電池を充電式に切り替えたことにより、徐々に排出量を抑えることに成功、結果目標を達成することができました。

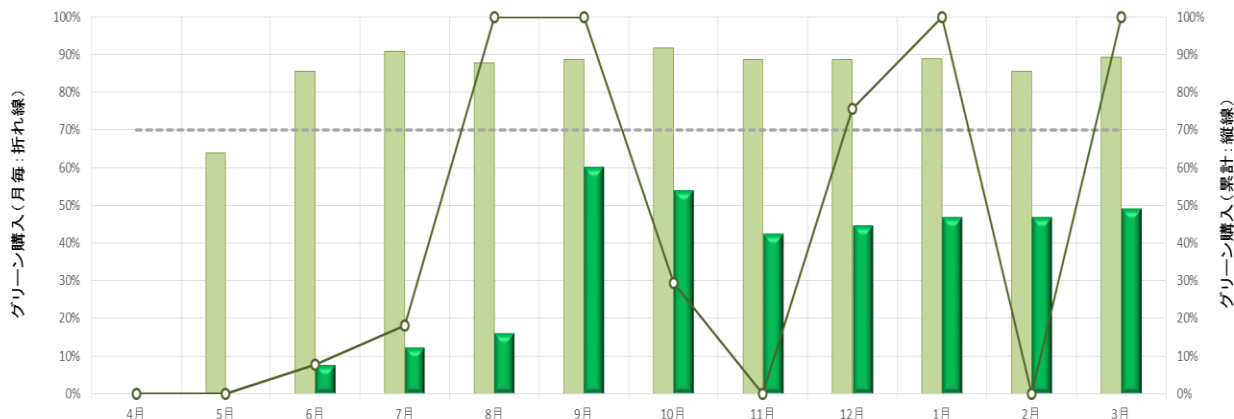
## ■ グリーン購入

【H30年度目標】グリーン購入率70%以上  
 【中期目標（H28～32）】グリーン購入率80%以上

目標未達...

<グリーン購入：南陽市勤労者総合福祉センター>

H29 H30 目標値 H30月毎



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 取組期間目標：70%
- 取組期間実績：49%

【評価コメント】

事務消耗品を購入する際は必ずグリーン購入をするように徹底しましたが、ハンコやレジのロール紙などはグリーン購入対象でないため、結果目標を達成できませんでした。

## 4. 環境活動計画と取組結果 並びに次年度の取組内容

<評価判定の目安>

- …実施済。80%以上の社員が取組んでいる。80点以上の満足度である。
- △…一部未実施。50～80%の社員が取組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。
- ×…未実施。50%未満の社員しか取組んでいない。50点未満の満足度である。（是正処置の対象）

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	備考、是正処置の必要性等
二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	■室温は、暖房期20℃、冷房期28℃で管理	○	○	○	○	
		■サーキュレーターを稼働させ、室内温度差をなくす	-	-	-	-	サーキュレーターの購入を検討
		■使用していない部屋のエアコンはOFF	○	○	○	○	
		■定期的にエアコンのフィルターを清掃	○	△	○	○	
		■不要な照明は消灯	○	○	○	○	
		■クールビズの推進(機能性下着の着用)	○	○	/	/	
		■ウオームビズの推進(保温性の高い下着の着用)	/	/	○	○	
		■パソコンは省エネモードで使用	○	○	○	○	
		■トイレの暖房便座は夏期OFF(温水の温度設定は「低」)	○	○	/	/	
		■グリーンカーテン	-	-	/	/	グリーンカーテン実施を検討
	■窓にすだれを垂らし、直射日光を防ぐ	-	-	/	/	すだれ購入・設置を検討	
	■その他化石燃料の削減 (灯油・LPG)	■暖房温度は決められた温度以下で管理する。	○	○	○	○	
		■窓の内側に断熱材を貼り付ける	/	/	△	△	事務所のみ実施
		■ウオームビズの徹底(服装による省エネ推進)	-	-	○	○	
■必要最低限の温度で給湯(夏期は使用しない)		○	○	○	○		



環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	備考、是正処置の必要性等
の削減と適正管理	■一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	■廃棄物置場の整理整頓	△	△	○	○	
		■不要な資料・カタログ等の辞退・返却	△	△	△	△	
		■コピー用紙削減(両面コピー・裏紙利用の徹底)	○	○	○	○	
		■一般廃棄物の排出量記録	○	○	○	○	
		■社内の整理整頓	○	○	○	○	
	■産業廃棄物の削減と適正管理	■保管場所の管理(安全衛生状態も含む)	○	○	△	○	
		■充電式乾電池への転換	△	○	○	○	
		■マニフェスト・契約書類の管理	○	○	○	○	
の削減	■水道使用量の削減	■「節水」の掲示	△	△	○	○	
		■蛇口元栓の調整(必要最小限の流量)	○	○	○	○	
		■地下水の適正利用基準の策定と遵守	△	△	△	△	
		■その他節水対策機器に関する情報収集	○	○	○	○	
グリーン購入	■グリーン購入	■グリーン購入ネットワーク(GPN)認定商品(エコ商品)の選定	○	○	○	○	
		■事務消耗品のエコ商品購入率の把握	○	○	○	○	
(製品自主設定項目)	■社員のスキルアップ	■資格取得者の増加	△	△	△	△	救急救命講習会への参加促進
		■社内研修会・勉強会の開催、テキスト参考書購入補助	△	△	△	△	CD研修会への参加促進
	■誤発報による緊急出動回数を減らす	■開始開錠ミスを減らすように教育する。	○	○	○	○	
	■会社周辺の清掃活動	■周辺道路のごみ拾い、草刈りなどの実施	○	○	○	△	スタッフミーティング前に実施

多くの計画は実施することができましたが、一部未実施だった部分がありました。特に県内の文化施設からイベントのチラシなど、枚数を少なくしてもらおうような交渉をする必要があります。周辺清掃のごみ拾い、草むしりを毎月1回実施しているスタッフミーティング前に実施いたしました。今後について、利用が増えることにより、電気使用量や灯油などの使用量は増加し、ゴミも増加するので、利用者への周知及びご協力をお願いを徹底する。

## 6. 環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無



### 6-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況

当社が法的義務を受ける環境関連法規の遵守状況は、平成30年4月に関連法規一覧にまとめ、確認した結果、違反はありませんでした。

- 環境基本法等：問題なし
- 大気汚染防止法：問題なし
- ボイラー及び圧力容器安全規則：問題なし
- 水質汚濁防止法(貯油施設)：問題なし(訓練未実施だったため、H30年度中に実施済)
- 下水道法：問題なし
- 消防関係：問題なし
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律：問題なし(水銀使用製品産業廃棄物の掲示板設置済)
- フロン排出抑制法：問題なし
- 下水道法：問題なし
- 家電リサイクル法：問題なし

### 6-2. 法令違反・訴訟等の有無

行政からの環境関連法令違反の指摘・指導、環境面での訴訟は、創業以来ありません。



## 7. 代表者による見直しの結果



平成30年度から、対象外であった指定管理施設がエコアクション21の取組に参加し、12月の更新審査において、指定管理施設の取組が評価され、無事更新することができ、これで全組織でエコアクション21の取組がスタートしました。

その中で南陽市勤労者総合福祉センターでは、いち早く環境掲示板の作成に着手し、また、利用者への周知のためのポップなど、積極的にエコアクション21を進めていただいております。昨年実施された指定管理施設の審査において、南陽市勤労者総合福祉センターが選出されましたが、環境コミュニケーションが優れていると評価をいただくことができました。

一方、環境関連法規等において、一部認識不足で取組が不十分だったこともありましたが、早急に対応していただきました。

どの指定管理施設にも言えることですが、利用料金制を採用しているため、利用を促進させる必要があるのですが、その結果、電気使用量やゴミの排出量が増加してしまうジレンマがあり、また当施設もまもなく開館から25年が経過し、機械設備、特に空調機や、照明器具、屋外テニスコートの夜間照明などに不具合が生じて、そのため環境負荷が増加しています。今後については、それらの更新と、施設全体のLED化など、利用が増加しても環境負荷増にならないように、南陽市と二人三脚で進めていきたいと思っております。

株式会社 エービーエム 代表取締役社長 赤間 俊明

## 8. 環境コミュニケーションの取組



お客様が利用するロビーに環境掲示板を設置。環境取組状況だけでなく、お客様からのエコアイデアなども掲示しています。



分別も徹底

こんな大きい掲示板見たことないわ  
ギネス世界一だね

そんなギネスあるかい！



# 菊とぶどうといで湯の里南陽は 魅力満載



赤湯ラーメン



熊野大社

この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。ご希望の方は、窓口でお申し出  
いただくか、下記にご連絡下さい。

南陽市勤労者総合福祉センターHP (<http://www.watowa-nanyo.jp>)

指定管理者株式会社エービーエムHP (<http://www.y-abm.co.jp/>)

エコアクション21中央事務局HP (<http://www.ea21.jp/>) でもご覧いただけます。

〒992-0472山形県南陽市宮内4526-1 TEL. 0238-47-6445